

千葉県内で働く看護職の皆様

## 「キャリア後期看護職のセカンドキャリアに関する意向調査」ご協力をお願い

超高齢社会を迎える千葉県において、看護職員の不足は深刻な問題であり、子育て世代看護職のワークライフバランスの充実を中心に看護職員確保対策が進められています。しかし、その実現を支えているベテラン看護職すなわちキャリア後期看護職の就業継続対策は、あまり進んでいない実情があります。

キャリア後期看護職の離職は、年齢や経験、家庭状況や身体状況にかかわらず、誰もが同じ働き方を求められることが一因であると考えられます。個人の状況に応じた働き方が選択できるようになれば、働き続けたいと希望するキャリア後期看護職の就業継続が可能になり、看護の質的・量的充実が期待されます。

この度、千葉県立保健医療大学共同研究費(学長裁量)の助成を受け、「キャリア後期看護職のセカンドキャリアに関する意向調査」を実施することになりました。キャリア後期看護職の皆様が、今後の就業継続に対してどのようなご希望やお考えをお持ちなのかを明らかにし、看護職セカンドキャリア促進に役立てていきたいと思ひます。調査へのご協力を賜りたく、ご依頼申し上げます。

\* **キャリア後期看護職** とは、「年齢 40 歳以上の保健師、助産師、看護師、准看護師」を指します。

\* **看護職セカンドキャリア** とは、「60 歳前後における定年や年齢を理由とした退職の後に、再び看護職として働くこと」を指します。

### 調査の概要

#### 1. 調査の対象となる方

調査協力に承諾した千葉県内の病院、診療所、訪問看護ステーション、介護老人福祉施設、介護老人保健施設に勤務する年齢 40 歳以上の保健師、助産師、看護師、准看護師

#### 2. 調査内容

看護職のキャリア、現職での就業継続の意向、セカンドキャリアに関する意向とその理由、セカンドキャリアでしたい仕事、必要なこと、困難／心配なこと、希望する雇用形態、等

#### 3. 調査方法

\* 各施設の調査のご担当者から、依頼文、調査票、返送用封筒をお受け取りになり、依頼文をお読みください。

\* 調査票への回答には 20 分程度の時間がかかります。回答したくない項目は、回答しなくてもかまいません。

\* ご協力いただける場合は調査票を記入し、**11月30日まで**に、返送用封筒に入れてポストに投函してください。

\* ご協力いただけない場合は、記入・返送の必要がありません。お手数ですが、調査票と返送用封筒を破棄してください。

**ご協力いただくにあたり、次のことをご約束します。**

- \* 調査への協力はお一人お一人の意思によるものであり、辞退することができます。辞退されたことを第三者に知らせることはありません。また、辞退により不利益を被ることはありません。調査への協力を辞退する場合は、調査票への記入、返送の必要がありません。お手数ですが、調査票を破棄してください。
- \* 個人情報の保護には十分に留意します。調査票には個人名を記載せず、識別番号を付して扱います。学会等で公表する際も、個人が特定されることはありません。
- \* データは鍵のかかる場所で保管し、終了後は安全に破棄します。
- \* ご提供いただいた個人情報は、本調査以外の目的には一切使用しません。
- \* 本調査の結果は、「千葉県立保健医療大学紀要」及び研究班のホームページに掲載します。また、看護職の就業継続や看護職員確保に関する学会や研修会等で公表する予定です。
- \* 調査に関するご質問、ご意見等、または看護職のセカンドキャリアに関するご意見等がございましたら、メールまたはファックスにて、下記連絡先までご連絡ください。担当者より折り返しご連絡申し上げます。

ご多用の折、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

研究メンバー      千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科

教授    石井 邦子（研究代表者）

講師    川城由紀子

助教    大滝 千智

助教    川村 紀子

講師    鳥田美紀代

〈連絡先〉 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科（大滝 川村）

〒261-0014 千葉市美浜区若葉 2-10-1

E-Mail cpuhs\*\*\*-\*\*\*@umin.ac.jp,

FAX 043-\*\*\*-\*\*\*\*